

1 特色化・魅力化 (1) 経緯及び現況

市立高等学校等一覧

学校名	課程・学科等	特色等
基町	全日・普通科	平成11年4月 美術を専門的に学ぶことができる創造表現コースを設置(1学級/1学年) 平成12年3月 新校舎完成
舟入	全日・普通科	平成10年3月 新校舎完成 平成10年4月 外国語を専門的に学ぶことができる国際コミュニケーションコースを設置(1学級/1学年)
市立広島商業	全日・商業科	平成19年12月 第1回広島市商ピースデパート開催 平成22年4月 みらい商業科に学科改編(2年生から8コース展開) 令和3年4月 2年生からのコース改編(流通マーケティング・観光ビジネス・広報プロデュース・金融ライフデザイン・ビジネス実務・会計マネジメント・ITエンジニア・ネットビジネス)
市立広島工業	全日・工業科	令和9年4月 学科改編予定(情報デザイン探究科、自動車探究科、ものづくり探究科)
沼田	全日・普通科	平成2年4月 保健体育を専門的に学ぶことができる体育コースを設置(1学級/1学年) 平成26年3月 生徒寮「飛翔館」完成 令和5年4月 体育コースを2学級/1学年にコース改編
美鈴が丘	全日・新しい普通科	平成13年4月 理数系科目を専門的に学ぶことができる国際理数コースを設置(1学級/1学年) 平成24年3月 国際理数コースを廃止 令和7年4月 グローバル探究科(新しい普通科)に学科改編
広島みらい創生	定通・総合学科	平成30年4月 広島市域6校(市立:大手町商業・広島工業、県立:広島国泰寺・広島観音・海田・西)の定時制・通信制課程を統合し開校
広島中等教育	全日・普通科 (中高一貫教育校)	平成26年4月 開校(令和元年度まで旧安佐北中・高等学校と併置)

1 特色化・魅力化 (2) 今後の方向性 ア 各校での取組の更なる充実

各校の特色に応じた地元大学や地元企業及び地域社会との連携の強化

大学との連携の具体例

【基町高等学校】

探究活動アドバイザー制度

- ・ 総合的な探究の時間におけるグループで行う探究活動について、大学教授等から専門的なアドバイスを受ける制度。

【広島中等教育学校】

広島市立大学との連携

- ・ 前期課程3年生が広島市立大学を訪問し、授業の受講と留学生との交流を行う。

企業との連携の具体例

【広島商業高校】

広島市商ピースデパート

- ・ 地元企業のことを学び、企業と連携して商品を仕入れ販売。
- ・ 地元企業と協力して新たに開発した商品を販売。

コースアドバイザー制度

- ・ 2学年から選択するコース(8コースから1つ選択)における取組内容について企業関係者等が指導・助言を行う制度。
- ・ 各コース1人のコースアドバイザーが、年間20時間程度、学校の取組内容への助言や直接生徒への指導を行う。

【広島工業高校】

産学連携リレー講座

- ・ 地元企業の職業人による特別講演会を年間を通じて定期的に行う。
- ・ R7年度は全7回を実施。(マツダ、マルニ木工、中国電力など)

地域との連携の具体例

【美鈴が丘高校】

TGC(探究 グローカル コラボレーション)

- ・ 地域の具体的な課題解決や価値創出を行うためのプロジェクト。
- ・ R7年度は佐伯区役所(観光資源の発掘)、美鈴が丘学区自主防災会連合会(若年層の防災意識向上)などと連携。

1 特色化・魅力化 (2) 今後の方向性 ア 各校での取組の更なる充実

学びの基盤となるハード面の充実

【普通科・グローバル探究科】

基町	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎南棟	1998(H10)	4	10,304
校舎西棟	1999(H11)	4	4,225
校舎北棟	1984(S59)	3	843
屋内運動場	1999(H11)	—	2,278

舟入	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎	1997(H9)	5	14,279
屋内運動場	1980(S55)	—	1,297

沼田	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎	1984(S59)	4	10,902
屋内運動場①	1984(S59)	—	2,018
屋内運動場②	1991(H3)	—	2,720

美鈴が丘	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎	1987(S62)	5	11,011
屋内運動場	1987(S62)	—	2,041

広島中等	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎	1983(S58)	4	10,456
屋内運動場	1983(S58)	—	2,035

築年数40年超え

【商業科・工業科・総合学科】

市立広島商業	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎本館	1963(S38)	4	6,020
校舎新館	1982(S57)	4	1,444
屋内運動場①	1966(S41)	—	974
屋内運動場②	1982(S57)	—	1,232

築年数63年

市立広島工業	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎1号棟	1995(H7)	3	1,416
校舎2号棟	1964(S39)	4	3,601
校舎3号棟	1964(S39)	3	2,301
校舎4号棟	1986(S61)	3	3,764
校舎5号棟	1967(S42)	2	2,416
校舎本館	1987(S62)	3	1,451
校舎視聴覚棟	1971(S46)	3	803
屋内運動場	1995(H7)	—	1,416

築年数62年

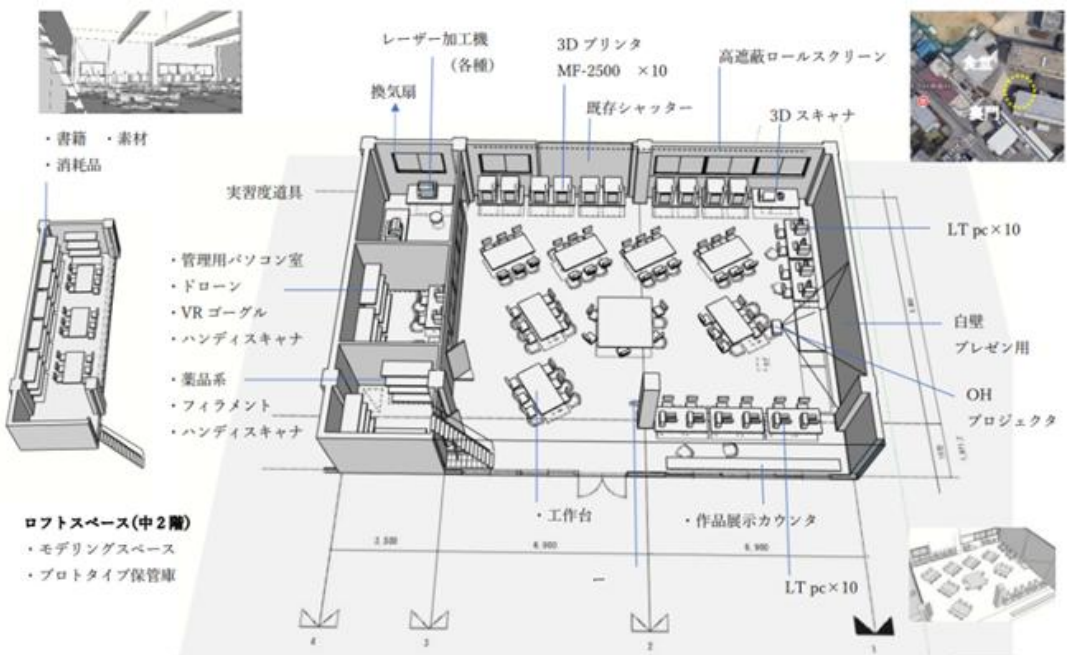
広島みらい創生	建築年度	階数	面積(㎡)
校舎	2018(H30)	4	12,742
屋内運動場	2018(H30)	—	2,909

1 特色化・魅力化 (2) 今後の方向性 ア 各校での取組の更なる充実

学びの基盤となるハード面の充実

SHIKOモノづくりスペース(仮称)

- 広島工業高校の学科・コースを横断的・縦断的にものづくりを学ぶ拠点となる新たなデジタルファブリケーション施設をイメージ。
- 産業界の実務者との産学連携、高等教育機関との高大連携、小中学校や地域住民との地域連携の場として、地域のものづくりの拠点としても活用。
- 学校内の授業等における生徒のアイデアや連携先とのプロジェクトにおける成果物をデザインしてプロトタイプを作成したり、改良を重ねたりするために必要とされる機器を整備(主に現存の機器を新たな施設に集約。)



ラーニングコモンズ

- 生徒が地域コミュニティと協働して、地域の課題を解決する方法等を考えたり、生徒同士がグループで探究学習を進めることができる拠点を整備。



施設改修等に伴う教育環境のアップデート

- 生徒の教育環境の質を確保するため、老朽化した施設改修等に合わせ時代に応じた機能強化を実施。

【教室環境の現状】



夏の高過ぎる外気温により、教室のエアコンが効きにくかったり故障したりすることがある。

教科書等の教材が増加していることにより、個人用の収納スペースが十分に確保されていない。

タブレット端末を使用した際に、机上のスペースが不足する。

1 特色化・魅力化 (2) 今後の方向性 イ 全校での取組の充実

既存の市立学校にはない新たな学びの機会の提供

令和7年12月実施「広島市立高等学校に関するアンケート」

対象：市立中学校第2学年生徒・保護者(抽出)、市立高等学校第2学年生徒・保護者(抽出)、市立高等学校教員(悉皆)

(1) 【設問】新たに推進すべき高校の取組や制度(複数回答可)

回答項目	中学生	高校生	中学生保護者	高校生保護者
多様な選択科目の中から進路に併せて授業を選択できる単位制の導入	23.7%	25.1%	43.6%	26.0%
2学年以降に学科やコースを選べる柔軟な選択制度	20.8%	15.0%	35.0%	24.7%
新たなコースや学科の設置	16.8%	8.6%	10.3%	9.3%
少人数指導の充実	12.3%	15.0%	22.2%	20.0%
在籍している高校以外の市立高校の授業を受けることができる単位認定制度	7.7%	8.9%	4.7%	12.7%

① 学級編制の標準

学級編制の標準(通常学級1学級あたりの児童・生徒数)は、「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により小学校は35人、中学校は35人(令和8年度から年次進行)、「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」により高等学校40人と定められている。

② 在学する高等学校等以外の場における学修の成果を各学校長判断により単位として認定(学校間連携)

【学校教育法施行規則】

第九十七条 校長は、教育上有益と認めるときは、生徒が当該校長の定めるところにより他の高等学校又は中等教育学校の後期課程において一部の科目又は総合的な探究の時間の単位を修得したときは、当該修得した単位数を当該生徒の在学する高等学校が定めた全課程の修了を認めるに必要な単位数のうちに加えることができる。

(2) 【設問】魅力ある高校にするための方策として重点を置く教育内容(複数回答可)

回答項目	中学生	高校生	中学生保護者	高校生保護者
国際理解教育	23.8%	18.0%	33.8%	27.3%
語学教育	20.5%	27.2%	41.0%	34.0%

① 市立学校におけるALT(外国語指導助手)の活用状況

令和8年度は広島中等教育学校に3名、その他の高等学校7校に6名を配置し、主に授業における英語指導で活用している。

② 現行の留学制度

広島市立学校在籍者または広島市在住の高校生を対象として、モンリオール市またはホノルル市への短期留学を企画し、留学費用の一部を補助*。(※令和8年度は、53人(うち市立学校生徒21人)の応募があり、選考の結果12人(うち市立学校生徒5人)への費用補助を決定。)

1 特色化・魅力化 (2) 今後の方向性 イ 全校での取組の充実

効果的な広報活動の実施

令和7年12月実施「広島市立高等学校に関するアンケート」

対象：市立中学校第2学年生徒・保護者(抽出)、市立高等学校第2学年生徒・保護者(抽出)、市立高等学校教員(悉皆)

【設問】高校を選ぶときに重視する(した)こと(複数回答可) ※高2生徒は、自分自身が中3で進路決定をした際に重視したことを回答。

回答項目	回答割合		差 (B－A)	回答順位	
	中2生徒(A)	高2生徒(B)		中2生徒	高2生徒
学力が合っている	43.2%	42.2%	▲1.0%	1位	1位
学科やコースの授業や取組に興味がある	16.8%	30.3%	+13.5%	8位	2位
学校の雰囲気が良い	39.4%	25.1%	▲14.3%	3位	4位
将来やりたいことや就きたい仕事と関連している	42.6%	20.2%	▲22.4%	2位	5位

- 学科やコースの授業や取組について、中学生及びその保護者が、具体的なイメージを持つことができるよう、学校紹介動画(広島商業・美鈴が丘)を作成したり、SNSを用いて魅力を発信したりするなど、市立学校の魅力を効果的に周知するよう努めている。
- 高校入学後においても、将来やりたいことや就きたい仕事と関連した学びを深めることができるよう、キャリア教育コーディネーターの配置を拡充し、学校の枠を超えたインターンシップを導入するなど、キャリア教育の充実に努めている。

市立高校の令和8年度広島県高等学校入学者選抜における志願倍率(全日制)

学校名	学科名等	定員	志願者数	志願倍率	学校名	学科名等	定員	志願者数	志願倍率
基町	普通科・普通	320	433	1.35	市立広島工業	機械科	40	31	0.78
	普通科・創造表現	40	46	1.15		自動車科	40	70	1.75
舟入	普通科・普通	280	323	1.15		電気科	40	44	1.10
	普通科・国際コミュニケーション	40	62	1.55		情報電子科	40	44	1.10
市立広島商業	みらい商業科	240	182	0.76		建築科	40	44	1.10
【合計】 定員 1,720人 志願者数 1,851人 志願倍率 1.08倍						環境設備科	40	31	0.78
						沼田	普通科・普通	240	242
					普通科・体育		80	88	1.10
					美鈴が丘	グローバル探究科	240	211	0.88

2 将来的な学校体制のあり方 (1) 経緯及び現況

学校名等

市立（8校）		課程	学科	開校
1	舟入	全日制	普通科	1921(T10)年
2	市立広島商業	全日制	商業科	1921(T10)年
3	市立広島工業	全日制	工業科	1924(T13)年
4	基町	全日制	普通科	1942(S17)年
5	沼田	全日制	普通科	1985(S60)年
6	美鈴が丘	全日制	普通科	1988(S63)年
7	広島中等教育(後)	全日制	普通科	2014(H26)年
8	広島みらい創生	フレキシブル	総合学科	2018(H30)年
県立（15校）		課程	学科	開校
①	広島国泰寺	全日制	普通科	1874(M7)年
②	広島工業	全日制	工業科	1897(M30)年
③	広島商業	全日制	商業科	1899(M32)年
④	広島皆実	全日制	普通科、看護科、体育科	1901(M34)年
⑤	可部	全日制、定時制	普通科	1912(M45)年
⑥	広島観音	全日制	総合学科	1922(T11)年
⑦	湯来南	全日制	普通科	1948(S23)年
⑧	五日市	全日制	普通科	1974(S49)年
⑨	安古市	全日制	普通科	1975(S50)年
⑩	高陽	全日制	普通科	1977(S52)年
⑪	広島井口	全日制	普通科	1978(S53)年
⑫	安西	全日制	普通科	1979(S54)年
⑬	祇園北	全日制	普通科	1983(S58)年
⑭	高陽東	全日制	総合学科	1983(S58)年
⑮	安芸南	全日制	普通科	1986(S61)年

私立（20校）		課程	学科	開校
A	修道	全日制	普通科	1725(K10)年
B	崇徳	全日制	普通科	1875(M8)年
C	広陵	全日制	普通科	1896(M29)年
D	広島女学院	全日制	普通科	1886(M19)年
E	山陽	全日制	普通科、工業科	1907(M40)年
F	進徳女子	全日制	普通科、家庭科	1908(M41)年
G	広島県瀬戸内	全日制	普通科	1914(T3)年
H	安田女子	全日制	普通科	1915(T4)年
I	比治山学園	全日制	普通科	1939(S14)年
J	ひろしま協創	全日制	普通科	1941(S16)年
K	ノートルダム清心	全日制	普通科	1953(S28)年
L	広島工業大学	全日制	普通科	1956(S31)年
M	広島文教大学附属	全日制	普通科	1957(S32)年
N	広島学院	全日制	普通科	1959(S34)年
O	広島城北	全日制	普通科	1963(S38)年
P	広島桜が丘	全日制	普通科	1963(S38)年
Q	広島なぎさ	全日制	普通科	1965(S40)年
R	並木学院(通)	通信制	普通科	2004(H16)年
S	AICJ	全日制	普通科	2007(H19)年
T	広島工業大学(通)	通信制	普通科	2011(H23)年
国立（1校）		課程	学科	開校
ア	広島大学附属	全日制	普通科	1905(M38)年

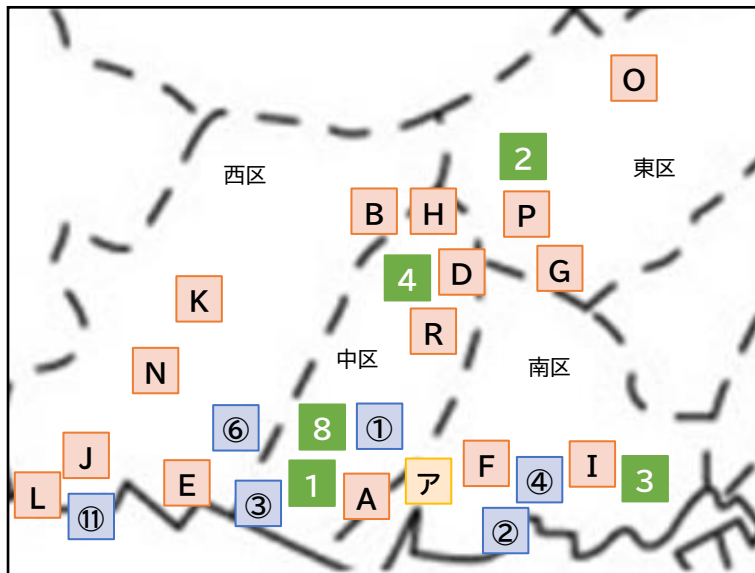
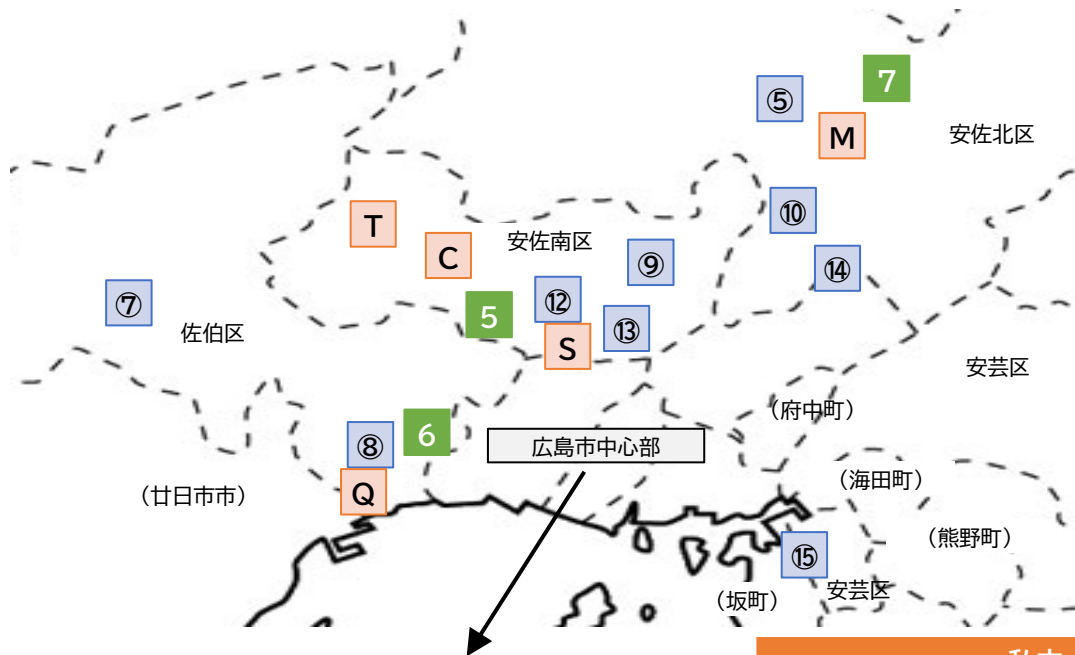
※ 太枠は、生徒急増期1970(S45)～1988(S63)年を示す
※ 赤字は、専門学科等を示す

2 将来的な学校体制のあり方 (1) 経緯及び現況

設置状況

市立 (8校)	
1	舟入
2	市立広島商業
3	市立広島工業
4	基町
5	沼田
6	美鈴が丘
7	広島中等教育(後)
8	広島みらい創生

県立 (15校)	
①	広島国泰寺
②	広島工業
③	広島商業
④	広島皆実
⑤	可部
⑥	広島観音
⑦	湯来南
⑧	五日市
⑨	安古市
⑩	高陽
⑪	広島井口
⑫	安西
⑬	祇園北
⑭	高陽東
⑮	安芸南



私立 (20校)			
A	修道	K	ノートルダム清心
B	崇徳	L	広島工業大学
C	広陵	M	広島文教大学附属
D	広島女学院	N	広島学院
E	山陽	O	広島城北
F	進徳女子	P	広島桜が丘
G	広島県瀬戸内	Q	広島なぎさ
H	安田女子	R	並木学院(通)
I	比治山学園	S	AICJ
J	ひろしま協創	T	広島工業大学(通)

国立 (1校)	
ア	広島大学附属

2 将来的な学校体制のあり方 (1) 経緯及び現況

令和8年度入学者数 全日制課程(人)

市立	入学者数	定員	県立	入学者数	定員	私立	入学者数	定員	国立	入学者数	定員
舟入	321	320	広島国泰寺	322	320	修道	291	300	広島大学附属	(200) ^{※1}	200
市立広島商業	183	240	広島工業	214	320	崇徳	600	440	※1 現時点で未公表のため、定員としている		
市立広島工業	241	240	広島商業	310	320	広陵	318	500			
基町	363	360	広島皆実	321	320	広島女学院	170	175			
沼田	318	320	可部	178	240	山陽	416	390			
美鈴が丘	210	240	広島観音	280	280	進徳女子	128	200			
広島中等教育(後)	117	—	湯来南	23	40	広島県瀬戸内	351	360			
市立計	1,753		五日市	240	240	安田女子	232	254			
			安古市	321	320	比治山学園	332	260			
			高陽	216	240	ひろしま協創	410	220			
			広島井口	320	320	ノートルダム清心	174	180			
			安西	50	80	広島工業大学	417	400			
			祇園北	311	320	広島文教大学附属	96	120			
			高陽東	240	240	広島学院	186	187			
			安芸南	197	200	広島城北	235	230			
			県立計	3,543		広島桜が丘	384	300			
						広島なぎさ	214	205			
						AICJ	138	160			
						私立計	5,092				

令和8年度入学者数 フレキシブル課程、定時制課程、通信制課程(人)

市立	入学者数	定員	県立	入学者数	定員	私立	入学者数	定員
広島みらい創生(定)	207	240	可部(定)	14	1学級	並木学院(通)	(338) ^{※2}	140
広島みらい創生(通)	217	400				広島工業大学(通)	(30) ^{※2}	80

※2 現時点で未公表のため、過去の実績をもとに平均値としている

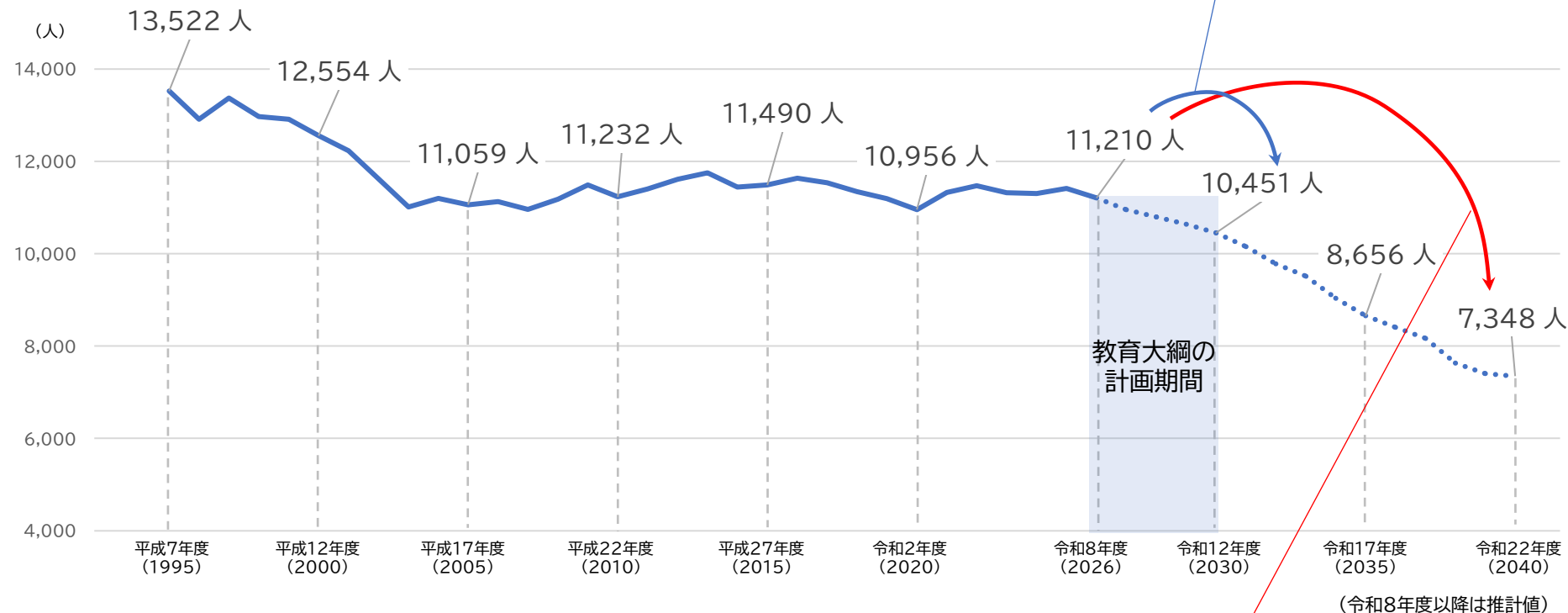
2 将来的な学校体制のあり方 (2) 今後の方向性

本市の15歳人口の推移

- 令和8年度から令和12年度の**5年間**で、759人(約6.8%)の減少が見込まれる
- 現在の15歳人口に占める市立高校入学者割合を当てはめると、市立高校への影響は、約144人の減少となる(学級数に換算すると約4学級相当の減少)

※ 令和8年度の市立高校第1学年の学級数の合計は、47学級である。

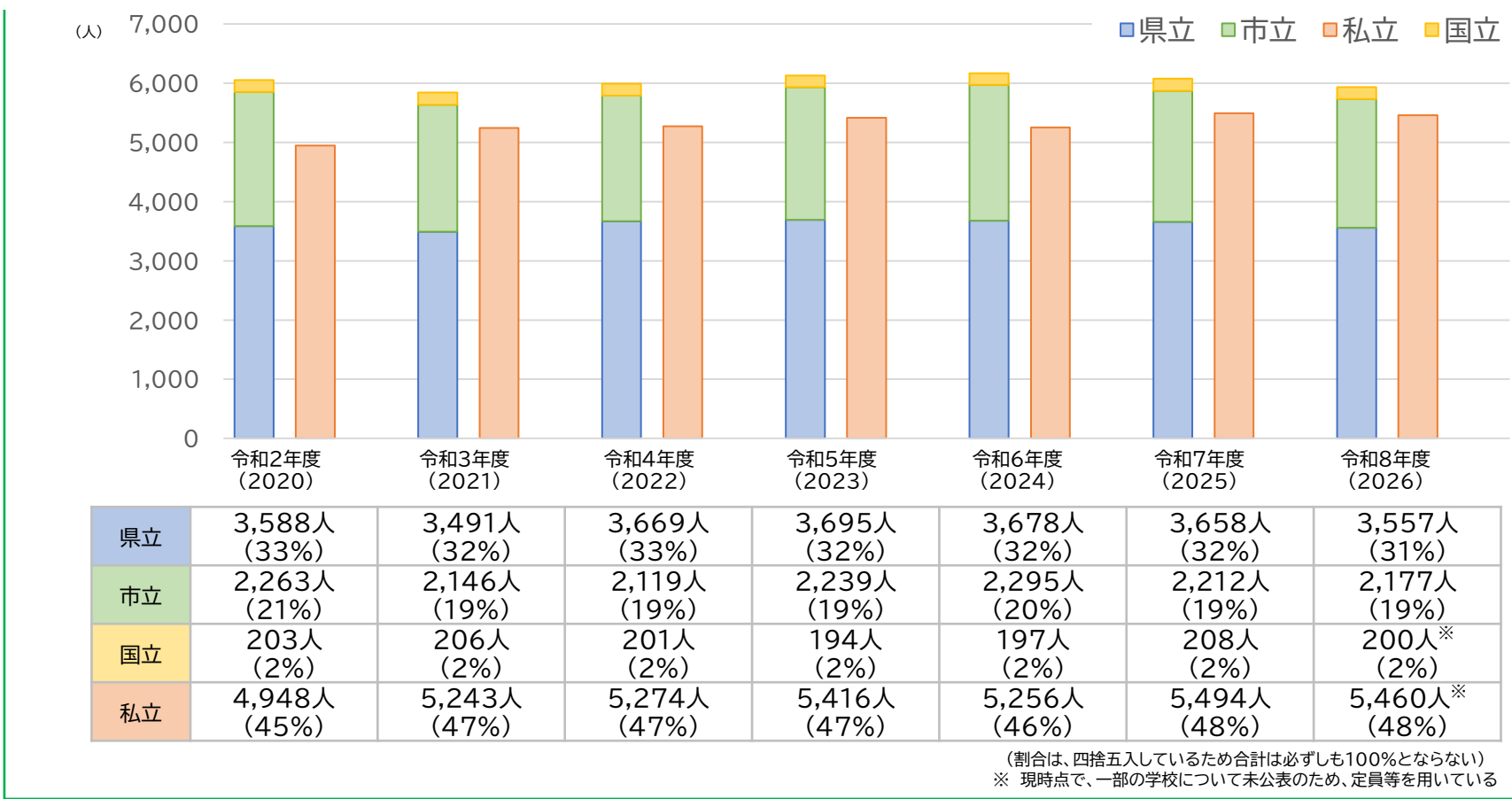
内訳(学級):基町(9)、舟入(8)、市立広島商業(6)、市立広島工業(6)、沼田(8)、美鈴が丘(6)、中等(4)、みらい創生(一)



- 令和8年度から令和22年度の**15年間**で、3,862人(約34.5%)の減少が見込まれる
- 現在の15歳人口に占める市立高校入学者割合を当てはめると、市立高校への影響は、約733人の減少となる(学級数に換算すると約18学級相当の減少)

2 将来的な学校体制のあり方 (2) 今後の方向性

本市域内の高等学校入学者数の推移



県立高等学校の再編計画

広島県教育委員会が、令和8年5月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る実施計画」において、統合対象としている本市内に所在する県立高等学校は以下のとおり。

対象校	令和7年度定員	校名	校地	課程	学科	目標年度
海田 高等学校 安芸南 高等学校	普通科 200人、家政科 80人 普通科 200人	未定	海田 高等学校	全日制	新しい普通科(仮称) 240人 生活共創科(仮称) 80人	令和14～15年度
高陽 高等学校 安西 高等学校 高陽東 高等学校	普通科 240人 普通科 80人 総合学科 240人	未定	高陽 高等学校	全日制	総合学科 280人	令和14～15年度